

基本計画

第1章 将来の総人口

第2章 施策の関連

第3章 本市の10年後のイメージと
主要指標

第4章 分野別まちづくりの方向性

第5章 地域別まちづくりの方向

1 将来の総人口

本市の人口は、1995年をピークに減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所が2018年3月に発表した人口推計では、第5次沼津市総合計画の目標年次である2030年においては、166,985人になると予測されています。

人口の減少は、居住環境の維持や労働力の確保が困難となり、地域経済の縮小や税収の減少を招くなど、社会経済や市民生活全体に対して大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

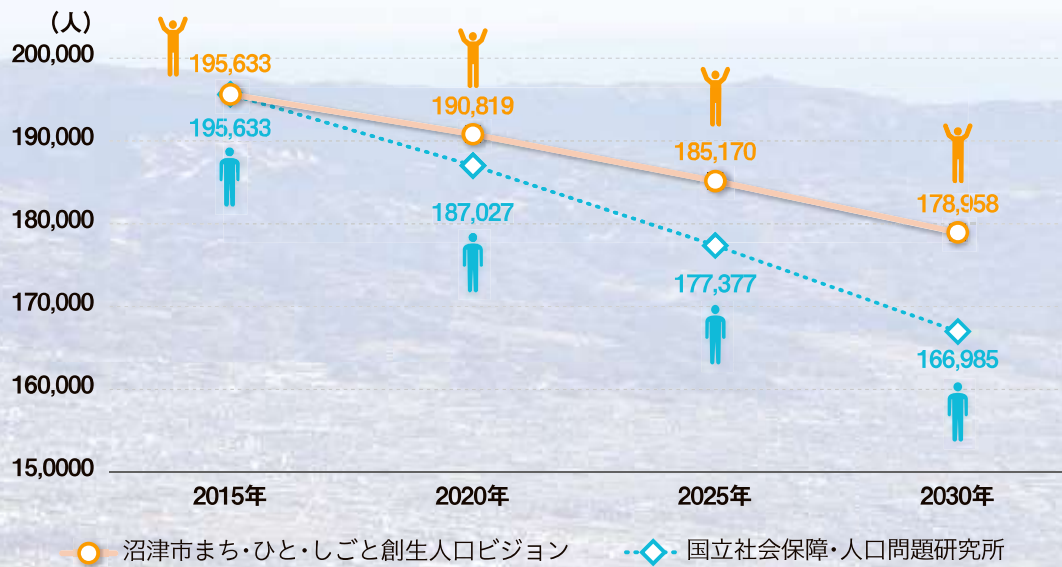
このため、将来にわたって本市の活力を維持していくために、可能な限り今後の人口減少を抑制していくことが必要です。

本市においては、沼津まち・ひと・しごと創生※人口ビジョンにおいて、人口の将来展望を定めているところであり、ビジョンの数値を踏まえて、目標年次である2030年における人口を「179,000人」と設定します。

2030年（総合計画目標年次）

179,000人

将来人口の推計



2 施策の関連

1. 体系図

将来都市像の実現に向けた8つのまちづくりの柱における基本施策と主な取組について、明確化・体系化しました。

将来像 人・まち・自然が調和し、躍動するまち 誇り高い沼津を目指して



基本計画(主な取組)

1 シビックプライドの醸成	2 誰もが参画できる協働のまちづくり	3 女性や高齢者などの活躍支援	4 まちづくりに意欲ある市民のチャレンジの支援
1 多様性を認める社会の醸成	2 男女共同参画の推進	3 働き方改革の推進とワーク・ライフ・バランスの実現	
1 地域コミュニティの強化	2 地区センターの機能の充実	3 多種多様な社会活動の支援	
1 効率的な施策推進と市政運営	2 広域生活圏を意識した近隣市町との連携の推進	3 情報公開の推進	4 市民の利便性向上を目指した行政改革の推進
1 沼津駅周辺総合整備事業による交通の円滑化と南北市街地の一体化	2 市街地開発事業等による都市機能の強化	3 街路等の再構築によるヒト中心の公共空間の創出	4 多様なライフスタイルを築きしめるまちなか居住の促進
			5 Society5.0の実現に向けた先進的な技術の導入
1 関係機関と連携した骨格交通軸等の整備	2 拠点間を結ぶ公共交通ネットワーク	3 新しい技術やモビリティへの対応	
1 リノベーションまちづくりの推進	2 公共空間の活用とまちなかにぎわい創出	3 空き家等の適正管理と活用	
1 良好な景観の維持・保全	2 ユニバーサルデザインによる人に優しいまちづくり	3 快適な住環境の創出	4 市営住宅の計画的な整備
1 身近な緑の保全や緑化の推進	2 都市公園の整備と利活用	3 健康・文化・交流ゾーンの形成	4 質の高いデザインによるまちづくり
1 魅力ある個店づくりの支援	2 商店街のにぎわいづくりと基盤の強化	3 まちづくりと連携したエリアの魅力創出	
1 新たな工業用地の確保	2 企業誘致・定着の推進	3 中小企業の経営基盤の強化	
1 農林水産業の基盤整備	2 後継者の確保と新たな担い手の育成	3 新しい技術の導入や6次産業化の促進	4 地産地消の推進
			5 異業種間で連携した特産品の開発とブランド化の推進
1 成長力のある産業の育成	2 異業種連携等による新商品開発支援	3 起業創業の支援	4 ICT等の先端技術導入の支援
1 労働人材の確保・育成	2 事業承継の推進	3 潜在的労働力の掘り起こし	4 勤労者福祉の充実
1 シティプロモーションの推進	2 映画等のロケーション誘致の推進	3 SNS等の活用による情報発信	4 ふるさと納税等の推進
			5 スポーツによるオンリーワンブランドの形成
1 インナープロモーションの推進	2 歴史・文化資源の保存と活用	3 新たな地域資源の発掘・創出	
1 にぎわいの創出	2 地域資源を活用したツーリズムの推進	3 MIC誘致、広域での観光振興	
1 おもてなし態勢の整備	2 インバウンドに対応した観光商品の創出支援	3 効果的な情報発信	
1 ぬまづ暮らしの発信	2 移住・定住支援の充実	3 関係人口の増加	
1 出会い、結婚、妊娠・出産を望む市民への支援	2 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援	3 多様な悩みを抱える子ども・保護者への支援	
1 待機児童対策の推進	2 保護者を支える子育てサービスの充実	3 放課後児童クラブなどの居場所づくりの推進	
1 職場環境の改善	2 地域で支える子育ての推進	3 子どもの貧困・虐待防止対策の推進	
1 特色ある学校教育の推進	2 学校規模・学校配置の適正化等の推進	3 幼児・学校教育、地域、家庭との連携	
1 青少年の健全育成	2 生涯学習の充実	3 郷土への愛着と誇りの醸成	
1 豊かなライフステージを支えるスポーツの推進	2 競技スポーツへの支援	3 市民の交流の場ともなるスポーツ施設の充実	4 市民の芸術・文化活動の支援
			5 芸術文化の振興
1 健康づくりの支援	2 疾病の予防、早期発見・早期対応	3 こころのケアの充実	
1 フレイル対策の推進	2 高齢者の生きがいづくりと社会参画の推進	3 地域包括ケアシステムの強化	4 単身高齢者等の孤立防止
1 ユニバーサルデザインの推進	2 障害への理解の促進	3 障害のある人の生活等の支援	4 生活困窮者の自立支援の充実
			5 地域全体で支え合う福祉活動の推進
1 地域医療及び救急医療体制の確保	2 市立病院の機能維持・充実	3 国民健康保険制度の健全運用	
1 地震・津波対策の推進	2 気候変動の影響を踏まえた災害対策の推進	3 わかりやすい防災情報の発信	4 様々な防災の取組の強化
1 安全な地域社会を支える都市骨格の形成	2 戦略的なインフラマネジメント	3 公共施設等の耐震化の推進	4 防災・減災・復旧対策の推進
1 地域住民の災害対応力の強化	2 防災教育の推進、防災意識の向上	3 避難所運営の充実	
1 地域の防犯活動の推進	2 消費生活におけるトラブル防止対策の推進	3 感染症など新たな危機事象への対策	
1 歩行者の安全に配慮した道路の整備・管理	2 自転車利用環境の整備等	3 交通安全意識の向上	4 高齢運転者による交通事故の防止
			5 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備
1 環境に配慮した事業活動の推進	2 環境に優しい交通手段の利用促進	3 環境に配慮した施設整備や低炭素機器の導入促進	4 再生可能エネルギーの有効活用
1 ごみの発生抑制・再使用・再資源化の推進	2 安全で環境負荷の少ないごみ処理の推進		
1 自然環境・生物多様性の保全	2 生態系からの恵みの持続的な享受と活用		
1 水源環境の保全	2 地下水の適正利用と汚染防止	3 排水の適正処理の推進	
1 環境教育・学習の推進	2 自主的・積極的な環境保全活動の推進		

2 施策の関連

2. まちづくりとSDGsとの関連

SDGsにおいては、全ての関係者の役割が重視され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への総合的な取組が求められています。



1. 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



2. 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



8. 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及びディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



10. 人や国の不平等をなくそう

国内及び国家間の格差を是正する



11. 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する



13. 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



14. 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



15. 陸の豊かさを守ろう

陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、並びに生物多様性損失の阻止を図る



16. 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



17. パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

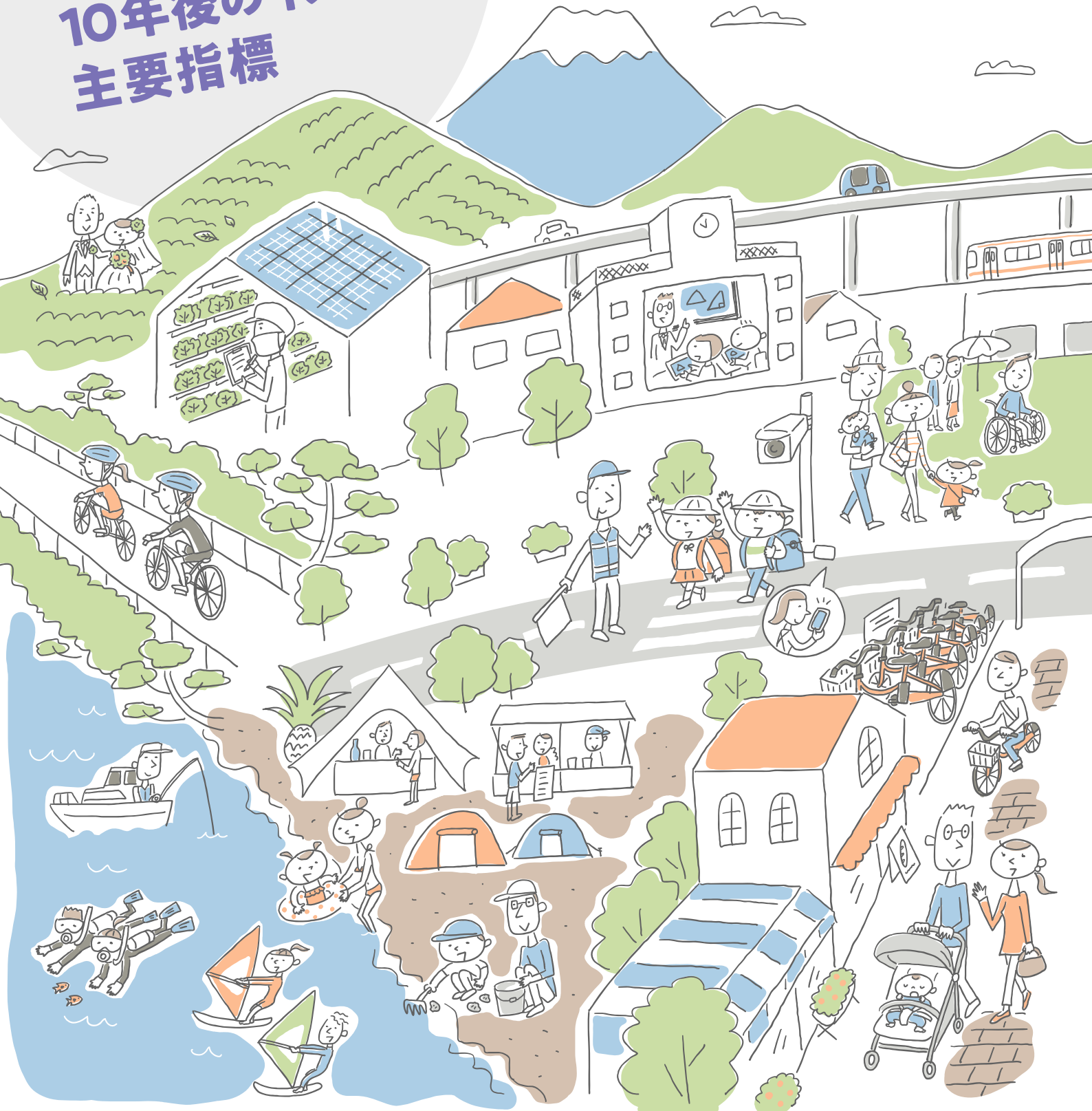


第5次沼津市総合計画は、目指すべき本市の将来都市像やまちづくりの方針を示し、市民と行政とが互いにこれを共有し、連携してまちづくりに取り組んでいく計画です。

市政運営において最上位に位置付けられるとともに、市政全般にわたる行政分野を包括する総合的な計画であることから、8つのまちづくりの柱に基づく各種施策をSDGsと関連付けて推進を図ることで、SDGsの17の目標達成につなげていきます。

8つのまちづくりの柱と SDGsの17の目標	1	2	3	4	5	6	7	8
	実現できるまち 自分らしいライフスタイルを	ヒト中心で 都市的魅力にあふれるまち	力強い産業を牽引するまち	地域の宝を活かすまち	産み育てられるまち 安心して子どもを	笑顔があふれ 健康で心豊かに暮らせるまち	安全・安心のまち	環境と共生する 持続可能なまち
1 貧困をなくそう		●	●		●	●	●	
2 飢餓をゼロに			●		●	●		
3 すべての人に健康と福祉を		●			●	●	●	●
4 質の高い教育をみんなに	●		●	●	●	●		●
5 ジェンダー平等を実現しよう	●		●		●	●	●	
6 安全な水とトイレを世界中に							●	●
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに								●
8 働きがいも経済成長も	●		●	●	●	●		
9 産業と技術革新の基盤をつくろう		●	●				●	●
10 人や国の不平等をなくそう	●				●	●		
11 住み続けられるまちづくりを	●	●		●			●	●
12 つくる責任 つかう責任	●							●
13 気候変動に具体的な対策を							●	●
14 海の豊かさを守ろう			●	●				●
15 陸の豊かさを守ろう		●	●					●
16 平和と公正をすべての人に	●				●		●	
17 パートナーシップで目標を達成しよう	●	●	●	●	●	●	●	●

3 本市の 10年後のイメージと 主要指標



定住

社会動態（日本人・外国人含む）
 基準値 (R1) **535人** ▶▶▶ 目指す方向 **UP** (転入超過維持)

出生数（日本人・外国人含む）
 基準値 (R1) **1,082人** ▶▶▶ 目指す方向 **UP**

交流

観光交流客数
 基準値 (R1) **436.3万人** ▶▶▶ 目指す方向 **UP**

中心市街地歩行者数
 基準値 (R2) **45,250人** ▶▶▶ 目指す方向 **UP**

本市のこれからの10年は、様々な都市基盤整備が進み、多くの人が笑顔でいきいきと活動している姿がまちにあふれ、元気な沼津に向けて、まちづくりが加速していきます。

沼津に愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思う市民の割合

基準値 (R1)

79.1%

目指す方向

UP



産業

事業所数

基準値 (H28)

10,178事業所

目指す方向

UP

経済活動別市町内総生産 (推計)

基準値 (H29)

8,229億円

目指す方向

UP

安全・安心

交通事故発生件数 (人口10万人当たり)

基準値 (R1)

797.6件

目指す方向

DOWN

刑法犯認知件数 (人口1,000人当たり)

基準値 (R1)

7.3件

目指す方向

DOWN